

進路通信 足跡 Step by Step

平成28年 6月14日発行 No. 1

保護者の皆様へ お願いと連絡

1 進路通信発行について

進路担当3年目となりましたが、なかなか進路通信の発行が手薄になりがちになってしまいます。今年度は教育相談という担当も兼ねているため、さらに目の回る日々をすごしている担当です。(PCと睨めっこする時間が困難という事です) もし、進路の事でご相談があるご家庭は、進路通信の発行を待たず、学校へご連絡ください。体ひとつで済む事ならいくらでも時間を作りますので、ぜひ!

また、進路通信は全学年配布しておりますが、3学年中心の情報提供となります。1・2年生は今後の参考にしていただけると幸いです。
進路担当 前底 さゆり

1 学期もすでに折り返し地点です。

先日大浜学年主任より、学年朝会にて“進路”の話をしてほしいと提案がありました。中間テスト・夏季総体と大きな行事を終えた3学年を次は進路へと導く雰囲気づくりの第1弾ということで、担当なりに考えた末、「整える」と「選択する」をテーマにお話をさせて頂きました。

まず「整える」から

1部活を整える

地区大会の反省を生かして、県大会へ向けての課題を見つけ自分やチームを整える。

県大会の切符がもらえなかった部活は、3年間の部活で使用した用具や気持ちを整えて次へ進む。

2授業を整える

大会後の浮かれた気持ちを授業に持ち込まない、今一度、授業前の用具の準備や提出物などの取り組みを振り返り、自分の課題、学級の課題を見つけ改善する努力をする。(受験は集団戦)

3入試に向かう気持ちを整える。

1,2が整うことができたなら、受験生としての1歩が整います。自分の第1歩は何から始めるかを決め、動き出す。

次に「選択する」というお話

1高校へ 進学する のか 進学しないのかを選択する

今のところ、現3学年には進学しなくても良い生徒は見あたりません、学年職員は全員受験させる気持ちでいます。

2進学先の選択

推薦入試を希望する生徒は7月の3者面談までには、進学先が固まっていることが理想です。その他の生徒も遅くとも2学期中には進学先を決定する事が大事です。

3推薦入試なのか 一般入試なのかを選択する

先にも述べたように、推薦入試を選択する場合は7月の面談を大切にしてください。

推薦入試・県外受験を希望する方へ

毎年、推薦入試・県外受験の対応をする中で、困っている事が多々ありました。2年間の反省事項として下記の項目をあげておきますので、参考にしながらお子様の進路支援を宜しくお願ひします。

1 生徒自身の情報収集力の強化

推薦入試を受ける・県外受験をすると言いつつ、頑張っているのは本人ではなく保護者の方という出来事が多々ありました。保護者の気持ちも十分わかりますが、本人の自覚を育みながら進めてもらいたいと担当としては感じます。

2 県外受験の難しさ・厳しさ

本校へは県立・県内私立の情報は、高校側からやってきますが、県外となると自ら足を動かさないといけません。また、県外となると、受験の日程・方針・・・諸々の方法が違ってきますので、県外受験の際はできるだけ早めに担任との話し合いを進めて頂きたいです。また、その際ご家庭としてどこまで情報収集ができるかも伝えてもらえると助かります。

～進路室を開放いたします～

2階中央の旧教育相談室を進路室として開放いたします。各高校・専門学校等の情報はもちろんのこと、生徒・談話コーナー、保護者相談室も設置しておりますので、皆さまも、お気軽にご利用ください。今年度の情報はまだ十分ではありませんが、少しずつですが増えてきました。平成25年度～平成28年度の学校紹介等もフォilingしてありますので、ご活用してください。

「15の春」を全員「満開」で迎えさせてあげたいですねえ。